

国際シンポジウム INTERPRAEVENT2026 ～気候変動下における複合自然災害とリスク管理～



環太平洋インタープリイベント協議会
環太平洋インタープリイベント2026実行委員会

近年、我が国のみならず世界的に地球温暖化の影響による集中豪雨や大型台風によって、地すべり、土石流、洪水やこれらが相まった土砂・洪水氾濫が発生し、未曾有の被害に見舞われている。また、地震や火山噴火によっても大規模かつ複合的な自然災害が頻発しており、人命や財産、生活や経済産業の基盤に対する脅威となっている。

今後も、気候変動や地震、火山噴火に伴う複合自然災害に対するリスクと隣り合わせで暮らす人びとは、これらに適応し共存していく必要があり、これまで培われた技術や経験、教訓を共有するとともに、今後の防災・減災に関する研究及び考察を深め、適切な対応策を積極的に世界へ発信していくことが極めて重要である。

このため、「気候変動下における複合自然災害とリスク管理」をテーマに、世界の技術者、研究者、行政関係者が北海道に集う「環太平洋INTERPRAEVENT2026」を開催する。

- 期 日：令和8年(2026年)10月20日(火)～10月23日(金)
 開 催 地：北海道札幌市(会場:札幌コンベンションセンター 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
 主 催：環太平洋インタープリイベント協議会、環太平洋インタープリイベント2026実行委員会
 共 催：International Research Society INTERPRAEVENT
 公益社団法人砂防学会、一般社団法人国際砂防協会
 協 賛：(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、
 (一財)砂防フロンティア整備推進機構、(一社)斜面防災対策技術協会
 後 援：国土交通省、北海道、札幌市
 助 成：公益財団法人 札幌国際プラザ、公益信託北海道開発国際交流基金



有珠山と洞爺湖温泉街を守る砂防施設



白金温泉と砂防施設(美瑛川)



地震後の土砂災害対策施設(日高幌内川)



十勝岳とヌッカクシ富良野川上流の砂防堰堤

テーマ 気候変動下における複合自然災害とリスク管理

日程	令和8(2026)	主なイベント	夜
	10月20日(火)	受付、開会式、基調講演、コアタイム、行政展示、企業展示	意見交換会※
	10月21日(水)	口頭・ポスターセッション、コアタイム、行政展示、企業展示	
	10月22日(木)	口頭・ポスターセッション、コアタイム、行政展示、企業展示 閉会式	
	10月23日(金)	現地視察研修	

※意見交換会は、ホテルライフオート札幌にて行います。

◆ 参加費用

登録日	一般	学生(30歳未満)
令和8(2026)年4月1日～7月31日まで	50,000円	10,000円
令和8(2026)年8月1日～9月15日まで	60,000円	12,000円
令和8(2026)年9月16日以降	70,000円	14,000円
意見交換会(歓迎会)参加費	12,000円	
昼食弁当代(10月21,22日)	1. 幕の内弁当 1,000円 2. 北海おこわ弁当1,220円	
現地視察研修会費	Excursion1, 2, 3, 5 : 15,000円 / 2,3 定員満了 Excursion4 : 21,000円 / 定員満了	

※現地視察研修会は最小催行人数25人。参加費には宿泊費は含まれていません。

※※10月20日(火)の開会式、基調講演及び行政展示のみ一般公開します(参加費無料)。

参加申し込み : 参加登録用ウェブサイト; <https://va.apollon.nta.co.jp/interpreavent2026/joho?MODE=beginner>

言語 : 使用する言語は英語です。

発表 : 参加登録者の口頭発表やポスター発表のスケジュールや要旨は9月30日迄に公表します。

◆トピックス : 発表のセッションでは、地震、火山噴火、洪水、土石流、地すべり、雪崩などの複合自然災害を対象とし、以下の6つのトピックに大別します。

()内は、トピックに関連するキーワードです。トピック選択の参考にしてください。

トピック1: 土砂移動モニタリング、モデリング、シミュレーション

(斜面崩壊・地すべり、土石流、流砂系、水文、数値解析、リモートセンシング)

トピック2: 大規模災害: 現象と対策

(深層崩壊、泥流、洪水、火山砂防、山火事後の土石流、地震、氷河湖決壊洪水)

トピック3: ハード対策: 計画・設計・施工・維持管理、地域活性化、自然環境

(山腹工、流路工、砂防堰堤、遊砂地、保安林、住民参加森づくり、施設マネジメント)

トピック4: ソフト対策: 警戒避難、ハザードマッピングと土地利用計画

(河川情報システム、住民参加、避難訓練、教育、保険)

トピック5: 応急対応、復旧

(ドローン調査、緊急排砂・排水、仮設工事、無人化施工、復興計画立案)

トピック6: 国土強靱化: 複合自然災害リスク管理のための政策、戦略

(国家レベルの政策・戦略、地方自治体の取組、総合リスク評価、防災減災投資、官民連携による防災計画、流域治水)


 INTERPRAEVENT 2026
 Sapporo, Hokkaido, Japan

◆ 全体プログラム

月日 ／ 時間	【1日目】 10月20日 (火)	【2日目】 10月21日 (水)	【3日目】 10月22日 (木)	【4日目】 10月23日 (金)
9:00		口頭セッション 8:30~9:40 中・小ホール, 104+105会議室	口頭セッション 8:30~10:00 中・小ホール, 104+105会議室	
10:00		コーヒーブレイク 9:40~10:00	コーヒーブレイク 10:00~10:20	
11:00	受付 10:00~13:00	口頭セッション 10:00~11:10 中・小ホール, 104+105会議室	口頭セッション 10:20~11:30 中・小ホール, 104+105会議室	
12:00	[会場] 企業展示 (204会議室 201+202) 行政展示 (107+108) ポスター セッション (206, 207)	SAポスター1分間紹介 11:10~11:30 中ホール ポスターコアタイム 11:30~13:00 206・207会議室	ポスターコアタイム 11:30~13:00 206・207会議室	
13:00		昼食 12:30~13:30	昼食 12:30~13:30	
14:00	アイス古式舞踊上演 13:00~13:30 開会式 13:30~14:30 特別会議場	口頭セッション 13:30~15:30 中・小ホール, 104+105会議室	口頭セッション Student Awards審査 13:30~14:40 中ホール	
15:00	基調講演 14:30~15:20 特別会議場	コーヒーブレイク 15:30~16:00	パネルディス カッション 14:40~16:10 中ホール	
16:00	コーヒーブレイク 15:20~15:40 基調講演 15:40~16:30 特別会議場	口頭セッション 16:00~18:00 中・小ホール, 104+105会議室	コーヒーブレイク 16:10~16:30 閉会式 16:30~17:00 中ホール	
17:00	ポスターコアタイム 16:30~18:00 206・207会議室			
18:00				
19:00	札幌コンベンションセンターから ホテルライフオート札幌へ移動 (臨時バスまたは、地下鉄にて)			
20:00	意見交換会 19:00~21:00 バイオリン演奏 和太鼓上演 北海道産 お酒試飲コーナー			
21:00	ホテル ライフオート札幌			

◆開会式の式次第(10月20日(火))

特別会議場

司会:中谷加奈

13:00～ 北海道の伝統芸能

「アイヌ古式舞踊」札幌ウポポ保存会



13:30～14:30

○開会式

主催者挨拶 山田孝 環太平洋インタープリイベント2026実行委員長

ゼライニツヒ ノルベルト

来賓挨拶 Norbert Sereinig インタープリイベント会長

國友 優 国土交通省水管理・国土保全局砂防部長

里深好文 公益社団法人 砂防学会 会長 (立命館大学教授)

シェッサ クリスティーナ

Christina Schösser オーストリア大使館商務部代表 商務参事官

開催地挨拶 鈴木直道 北海道知事

14:30～15:20

○基調講演

日 本 國友 優 (Masaru Kunitomo) 国土交通省水管理・国土保全局砂防部長

【演題】 Formation and Development of SABO Philosophy in Japan:
Focusing on Sediment Control Planning

フローリアン ドルフ ミクラウ

オーストリア Rudolf-Miklau, Florian 農業・林業・気候環境保護・水管理省 溪流・雪崩対策局長

【演題】 Extreme Events in the Alps Under the Influence of Global Warming—Current Developments,
Strategies, and Challenges

15:40～16:30

デ・ラ・グレンナリ エットーレ

イ タ リ ア Ettore de la Grennelais イタリア道路機構, ANAS,
ヴェネット州, フリウリ-ヴェネチア-ジュリア州最高執行責任者

【演題】 An adaptive multi-hazard framework for climate-resilient management of national road networks

チェン・チュンイェン

台 湾 陳 俊言 (Chun-Yen Chen) 農業部農村発展及水土保持署長

【演題】 Framework and Strategies for Managing Sediment-Related Hazards in Taiwan

206, 207会議室

16:30～18:00

○ポスターセッションコアタイム

Welcome Reception 参加への移動 臨時大型バス(8台) 18:00～順次出発

◆Welcome Reception の式次第(10月20日(火))

ホテルライフオート札幌

司会：宮田秀介

19:00～21:00

○Welcome Reception

主催者挨拶 山田 孝 環太平洋インタープリメント2026実行委員長

来賓挨拶 鈴木直道 北海道知事

開催地挨拶 札幌市長(代理)

(登壇) 鏡割り

乾杯 岡下 淳 国土交通省北海道開発局長



(写真は2018年富山での様子)

【料理】北海道の食材を使用した和洋折衷料理(立食形式)と「味噌ラーメン」コーナー

【アトラクション】

➤ バイオリン&ピアノ演奏 [中谷加奈&笠井美青]

➤ 和太鼓演奏 [風雪太鼓]

この演奏は、厳しい風雪やバツタの被害を乗り越えた
 明治期の開拓者たちの不屈の精神を称え、手稲山口
 の発展を願う彼らの思いを今に伝えるものです。



➤ 日本酒(道内の酒蔵)とワイン(GI「北海道」認定)のPR及び試飲コーナー[札幌国税局]

・閉会挨拶 Mr. DI Norbert Sereinig ^{ゼライニツヒ ノルベルト} インタープリメント会長

◆閉会式の式次第(10月22日(木))

中ホール

司会：笠井美青

16:30～17:00

・若手研究者の表彰式

・インタープリメント 山田 孝 インタープリメント2026実行委員長
 2026のまとめ

・次期2028年開催地 ^{ベルグ ハルバード}
 からの挨拶 Hallvard BERG インタープリメント副会長

・閉会挨拶 大野 宏之 環太平洋インタープリメント協議会会長

107 & 108会議室

◆行政展示

防災行政関係機関がパネル展示などを行います。

国土交通省、北海道により、最近の土砂災害や対策の事例を集めたポスターパネルを掲示します。

土石流模型・土砂災害に関する VR コンテンツや、1926年の十勝岳噴火に伴う大正泥流から100年の節目に、大正泥流のCG映像、映画「泥流地帯」関連グッズの配布コーナー等を設けます。



例：IP2018 富山

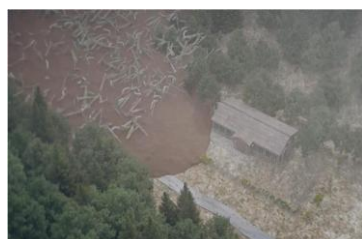
展示パネルサイズ
H2,100*W1,200



急傾斜地崩壊対策模型



土石流対策模型



大正泥流CGの上映

204, 201 & 202 会議室

◆企業展示

17の防災関係企業が自社の取り組みを紹介する19の展示ブースを設けます。

1	G1	株式会社 共生 KYOSEI CORPORATION
2	G2	柔構造物工法研究会 Japan Flexible Barrier Association
3	G3	日本工営株式会社 NIPPON KOEI CO.,LTD.
4	G4	応用地質株式会社 OYO Corporation
5	G5	建設無人化施工協会 Unmanned Construction System Association
6	G6	ジオブルックジャパン株式会社 GEOBERUGG Japan CO.,LTD.
7	S1	共和コンクリート工業株式会社 Kyowa Concrete Industry Co.,Ltd.
8	S2	株式会社建設技術研究所 CTI Engineering Co.,Ltd.
9	S3	株式会社建設技術研究所 CTI Engineering Co.,Ltd.
10	S4	サンスイ・ナビコ株式会社 SANSUI NAVICO Co.,Ltd.

11	S5	国際航業株式会社 KOKUSAI KOGYO Co.,Ltd.
12	S6	シバタ工業株式会社 SHIBATA INDUSTRIAL Co.,Ltd.
13	S7	国土防災技術株式会社 Japan Conservation Engineers & CO.,LTD 国土防災技術北海道株式会社 Japan Conservation Engineers of HOKKAIDO CO.,LTD
14	S8	アジア航測株式会社 Asia Air Survey Co.,Ltd.
15	S9	プロテックエンジニアリング株式会社 PROTEC ENGINEERING, INC.
16	S10	レフィクシア株式会社 Lefixea Inc.
17	G7	パシフィックコンサルタンツ株式会社 Pacific Consultants Co.,Ltd.
18	S11	パシフィックコンサルタンツ株式会社 Pacific Consultants Co.,Ltd.
19	G8	株式会社ネクシス光洋 Nexis Koyo Ltd.

◆パネルディスカッション(10月22日(木))

中ホール

14:40～16:10

○タイトル

多様な自然条件・社会条件の下での災害の備え — 気候変動がもたらす前提の限界と学びの可能性 —

○趣 旨

気候変動の影響により、災害リスクは単一のハザードにとどまらず、多様化するとともに、複数のハザードが重なり合う複合災害として現れつつある。その結果、これまで前提とされてきた災害想定やPreparedness(備え)、対応の枠組みが、十分に機能しなくなるおそれが指摘されている。一方で、こうした変化の現れ方は、気候・地形・生態系などの自然条件、および土地利用、都市化、人々の生活様式やリスク認識といった社会条件の違いにより、同じ気候変動の影響であっても、直面する課題は大きく異なる。

そこで、本パネルディスカッションは、多様な「前提条件(自然条件・社会条件)」を有する地域の研究者が、気候変動下でPreparedness(備え)がどのように揺らぎ、どのように更新されつつあるのか。多様な地域・文脈の経験を通じて議論する。具体的には、以下を明らかにすることを目指す。

- ・どのような災害想定や備え、対応の枠組みが崩れているのか
- ・それに対してどのような試行錯誤が行われているのか
- ・試行錯誤の中、条件が異なっても共有可能な学びは何か

○コーディネーター

内田太郎 筑波大学生命環境系 教授

○パネリスト

- | | |
|-------|---|
| ノルウェー | ヒラー プリスカ・ヘレーネ
Priska Helene Hiller, Senior engineering (上級技術者)
Norwegian water resources and energy directorate, NVE
Department of avalanche, landslide and flood mitigation
(ノルウェー水資源エネルギー局雪崩・地すべり・洪水減災部) |
| ス イ ス | リーナートクリストフ
Christophe Lienert, Managing Director (事務局長)
Secretariat Steering Committee on “Intervention in Natural Hazards”(LAINAT)
Federal Office for the Environment FOEN, DETEC
(スイス連邦環境庁 自然災害介入に関する運営委員会) |
| スリランカ | ジャヤティッサ ガミニ
Gamini Jayathissa, Chartered Geologist (認定地質専門家)
Director General, National Building Research Institute, NBRI(国家建築研究機構長) |
| 日 本 | 神山 嬢子 (国研)土木研究所土砂管理グループ主任研究員 |
| 韓 国 | ソンウ
Eu Song National Institute of Forest Science Landslide Division
(国立山林科学院地すべり研究室) |

◆ 現地視察研修について:

現地研修には、活火山の多い北海道において火山砂防を行っている十勝岳、樽前山、有珠山のコース、札幌市の都市化に先行して砂防事業を実施したコース、札幌市内にて北海道の歴史を探索するコースの計5コースを予定しています。各コースとも参加可能人数に限りがございますので、ご希望に添えない場合があります。※5コースとも最小催行人数25人。料金には昼食、入館料を含んでいます。

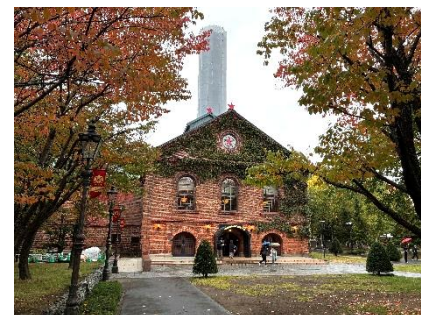
○Excursion1) 北海道の歴史探索コース「北海道開拓の歴史」



北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)



野外博物館 北海道開拓の村



サッポロビール博物館

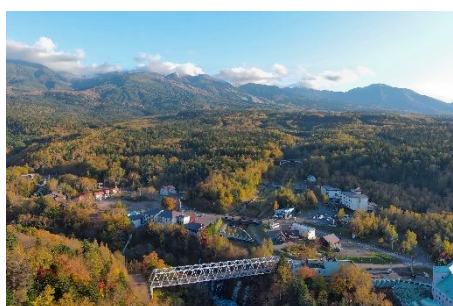
北海道大学構内のイチョウ並木
(2019年10月21日撮影)

北海道開拓村内

北海道開拓157年の歴史を札幌市内にて見学を行います。北海道行政の中心となった道庁赤レンガ、北海道の教育研究の一大拠点であり、北海道の開拓と発展の礎の役割を果たしてきた北海道大学、北海道開拓の村にて北海道開拓の歴史、北海道初のビールを醸造したサッポロビールの博物館を見学し、昼食には北海道名物のジンギスカンを堪能します。

○Excursion2) 十勝岳 火山地域の砂防コース

「融雪型火山泥流による国内最大規模の土砂災害発生から100年」



美瑛川溪流保全工



ヌツカクシ富良野川砂防堰堤



美瑛川「青い池」

大正15年(1926年)に発生した融雪型火山泥流から100年が経つ活火山の十勝岳。整備された砂防施設や展望台からの火山見学、一大観光地となった「青い池」などを見学し、火山対策の状況、火山の恵み、火山との共生について学びます。



INTERPRAEVENT 2026
Sapporo, Hokkaido, Japan

○Excursion3) 樽前山、北海道胆振東部地震の砂防コース「大規模地震による山腹斜面テフラ層の崩壊、地すべり⇒河道閉塞、都市域近傍の火山での融雪型火山泥流対策」



樽前山 覚生川砂防堰堤



日高幌内川 大規模斜面崩壊と河道閉塞状況



ウポポイ 民族共生象徴空間

活火山の樽前山にて整備をおこなっている砂防施設を見学するとともに、平成30年（2018年）の北海道胆振東部地震により発生した土砂災害における施設整備を見学します。また、ウポポイ（民族共生象徴空間）にて北海道先住民族のアイヌ文化について学びます。

○Excursion4) 有珠山 火山地域の砂防コース

「火山と人間の生産・生活圏が極めて近い火山地域での土砂災害の減災」



有珠山2000年噴火



有珠山 西山川砂防堰堤



洞爺湖 温泉街

1977年および2000年に噴火をし、甚大な被害を発生させた活火山の有珠山。2000年噴火では大規模な被害があったものの的確な避難実施により人命被害を生じさせませんでした。

当コースは、展望台からの火山見学や、噴火前後に整備を行った砂防施設、2000年噴火の災害遺構を見学し、火山対策の状況、火山の恵み、火山との共生について学びます。

○Excursion5) 琴似発寒川 大都市札幌の砂防コース

「都市化に先行し、札幌の発展の礎となった砂防事業」



札幌市市街地を流れる琴似発寒川



琴似発寒川(北海道初の溪流保全工)



羊ヶ丘展望台



平和堰堤(琴似発寒川)



大倉山ジャンプ競技場

琴似発寒川は昭和33年（1958年）に北海道にて初めて溪流保全工を実施した溪流です。都市化に先行した砂防施設整備を見学するとともに、観光地である「羊ヶ丘展望台」、「大倉山ジャンプ競技場」などを視察し、昼食には北海道名物のジンギスカンを堪能します。

環太平洋インタープリバント2026実行委員会組織



◆ 実行委員会 (敬称略、五十音順)

名 誉 顧 問	鈴木 直道	北海道知事
顧 問	石川 芳治	東京農工大学名誉教授
顧 問	丸井 英明	新潟大学名誉教授、インタープリバント名誉会員
実 行 委 員 長	山田 孝	北海道大学名誉教授
副実行委員長	大野 宏之	(一社)全国治水砂防協会理事長
委 員	今井 一之	(一財)砂防フロンティア整備推進機構理事長、(公社)砂防学会副会長
同	上村 明弘	北海道建設部土木局長
同	内田 太郎	筑波大学教授、インタープリバント科学技術委員会委員
同	岡部 博一	北海道開発局建設部河川計画課長
同	大坂 剛	国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部長
同	笠井 美青	北海道大学教授、(公社)砂防学会理事・国際部会長
同	栗原 淳一	(一財)砂防・地すべり技術センター理事長
同	権田 豊	新潟大学教授、(公社)砂防学会理事・研究開発部長
同	五味 高志	名古屋大学教授、(公社)砂防学会理事・総務部会長
同	椎葉 秀作	国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長
同	堤 大三	信州大学教授、(公社)砂防学会理事・編集部会長
同	判田 乾一	(国研)土木研究所土砂管理研究グループ長
同	南 哲行	(一社)斜面防災対策技術協会副会長
委 員・監 事	西井 洋史	(一社)建設コンサルタンツ協会技術部会国土基盤技術委員会 砂防・急傾斜専門委員会委員長
委 員・監 事	松尾 新二郎	(公社)砂防学会理事・副会長

◆ 編集小委員会 (敬称略、五十音順) ※編集小委員長が指名する幹事会委員

委員長	五味 高志	名古屋大学	委 員	佐藤 貴紀	東京農業大学
委 員	荒田 洋平	(地独)北海道立総合研究機構	同	篠原 慶規	宮崎大学
同	池田 誠	八千代エンジニアリング(株)	同	白木 克繁	東京農工大学
同	石井 靖雄	(一財)砂防・地すべり技術センター	同	田中 健貴	国土技術政策総合研究所
同	今泉 文寿	静岡大学	同	堤 大三	信州大学
同	内田 太郎	筑波大学	同	中谷 加奈	京都大学防災研究所
同	岡本 隆	(国研)森林総合研究所	同	堀田 紀文	東京大学
同	小山内 信智	(一財)砂防・地すべり技術センター	同	松岡 暁	日本工営(株)
同	影山 大輔※	国土交通省北海道開発局	同	松原 智生	(株)建設技術研究所
同	笠井 美青	北海道大学	同	松本 一穂	岩手大学
同	笠原 玉青	九州大学	同	宮田 秀介※	京都大学
同	金澤 瑛※	(国研)土木研究所	同	山野井 一輝	京都大学防災研究所
同	神山 嬢子	(国研)土木研究所	同	若原 妙子※	(公社)砂防学会
同	岸本 優輝	国土技術政策総合研究所	同	和田 孝志	鳥取大学
同	木村 誇	愛媛大学	同	Rozazqa Noviandi	ガジャマダ大学、インドネシア
同	ゴメス クリストファー	神戸大学	同	Song-Yue Yang	逢甲大学、台湾
同	権田 豊	新潟大学	同	Im, Sangjun	ソウル国立大学、韓国

◆ 運営小委員会 (敬称略、五十音順) ※運営小委員長が指名する幹事会委員

委員長	上村 明弘	北海道建設部土木局	委 員	寺井 一弘	国交省北海道開発局旭川開発建設部
委 員	阿部 島啓人	北海道砂防ボランティア協会	同	南里 智之	(公社)砂防学会 北海道支部
同	岡部 博一※	国交省北海道開発局河川計画課	同	宮坂 尚市朗	(一社)全国治水砂防協会北海道支部
同	小沼 忠久※	(一社)斜面防災対策技術協会北海道支部	同	堀田 伸之	(国研)寒地土木研究所
同	久保 徳彦	国交省北海道開発局室蘭開発建設部	同	吉田 敏※	北海道建設部土木局河川砂防課
同	今 日出人	(一社)建設コンサルタンツ協会北海道支部	同	吉村 元吾※	国土交通省砂防部砂防計画課
同	千葉 新次	(一社)北海道地質調査業協会	同	渡辺 亮	(一社)北海道測量設計業協会
同	秩父 宏太郎	国交省北海道開発局札幌開発建設部			

※令和8(2026)年8月31日時点
※記載内容は予告なく変更する場合があります

環太平洋インタープリバント2026実行委員会事務局 (岡本敦、城ヶ崎正人、白石雅寛、千田容嗣、野間大祐、野呂智之、渡正昭)

住所: 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 (一社)国際砂防協会内
電話: 03-6380-9044 FAX: 03-3261-0747
E-mail: interpraevent2026@kokusaisabo.or.jp
URL: <http://www.kokusaisabo.or.jp/interpraevent2026/index.htm>



October 20th –23rd, 2026

国際シンポジウム INTERPRAEVENT2026 ～気候変動下における複合自然災害とリスク管理～

INTERPRAEVENT 2026 International Symposium in the Pacific Rim

～Risk management for multi natural hazards under climate change～

参加登録受付中
Registration Now Open

初日・一般公開
Day1・Public Release

会 場 札幌コンベンションセンター

Venue Sapporo Convention Center

日 程 Schedule, 2026.10.20～

10月20日(火) 10時～受付, 開会式, 基調講演(日英同時通訳有)
Oct.20(Tue) Opening Ceremony, Keynote Speech
行政・企業展示 Government&Corporate Exhibits
ウェルカムレセプション Welcome Reception

10月21日(水) 口頭発表, ポスターセッション, 行政・企業展示
Oct.21(Wed) Oral Presentation, Poster Session
Government&Corporate Exhibits

10月22日(木) 口頭発表, ポスターセッション, 行政・企業展示, 閉会式
Oct.22(Thu) Oral Presentation, Poster Session
Government&Corporate Exhibits, Closing Ceremony

10月23日(金) 現地視察研修(5コース実施予定)
Oct.23(Fri) Excursion(five courses planned)



●主催 Organized by:
・環太平洋インタープリバント協議会
The Pacific Rim Research Society INTERPRAEVENT
Committee of Japan
・環太平洋インタープリバント2026実行委員会
Organizing Committee of INTERPRAEVENT 2026
in the Pacific Rim

●共催 Co-organized by:
・国際防災学会インタープリバント
International Research Society INTERPRAEVENT
・公益社団法人砂防学会
Japan Society of Erosion Control Engineering
・一般社団法人国際砂防協会
International Sabo Association

●協賛 In cooperation with:
・一般社団法人全国治水砂防協会
Japan Sabo Association
・一般財団法人砂防・地すべり技術センター
Sabo & Landslide Technical Center
・一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構
Sabo Frontier Foundation
・一般社団法人斜面防災対策技術協会
Japan Association for Slope Disaster Management

●後援 Supported by:
・国土交通省
Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism
・北海道 Hokkaido Government
・札幌市 City of Sapporo
●助成: Supported by a grant from
・公益財団法人 札幌国際プラザ
Sapporo convention bureau
・公益信託北海道開発国際交流基金
Development International Exchange Fund
a charitable trust



Please visit the official website:

公式ホームページ

<https://www.kokusaisabo.or.jp/interpraevent2026/index.htm>



INTERPRAEVENT 2026
Sapporo, Hokkaido, Japan